



# ともに

平成30年7月19日

第14号

文責：緒方悠実子

※個人情報保護のため目的外使用を禁止します

## ～日々の生活を考える～

今回の豪雨災害で、多くの命を失った方々や未だ行方不明の方々がいらっしゃいます。自然災害は、いつどんなことが起こるか予測不能で、だからこそ、日々の備えや訓練が本当に大切に必要ながよくわかります。西日本でこのような状態のとき、関東の方では震度5の地震があったと聞きました。今、地球はどのようになっているのだろうと、不安になり、恐くなりました。地域によっては、学校を再開することができず、部活動を行うことができていないまま各大会に出場しているところもあります。金曜日にあった県大会出場を果たした野球部と男子ソフトテニス部のキャプテンが、「こうして学校があり、練習をすることができる環境に感謝し、全力でプレーしたい」ということを言っていました。学校では水泳もやっていますが、小径には、「当たり前前にできることに感謝をしたい」ということを書いている人もいました。学校生活の中でできることは、「節水」を心がけることです。日々、何も考えずに水を使っていたと思います。そうきんを洗うことや手を洗うことに、「使う量をできる限り最小限におさえて…」と考えながら水を使っていた人はあまりいないと思います。私自身もそうでした。でも今、そう考えながら水を使うことが必要な時です。でもこれは、復旧するまでの話だけではなく、日々そのように考えながら、当たり前前にあることに感謝をしながら暮らしていかなければならないと思います。今回のことを機に、生活の仕方を考えたり、なんとか普段通りの生活ができている中で、自分はどんなことを全力でやるべきかと考えてみることでできればと思います。

## ～力を出し切った球技大会～

13日(金)に全校生徒での球技大会がありました。生徒会執行部が準備をしてくれて実現しました。チームはクラスごとで、1年生は奇数と偶数に分かれて2チーム作りしました。始まる前から「3年生と同等に戦えるのか!？」と不安な声がたくさんありましたが、やってみると…やっぱり2,3年生は強かったです。特に3年生の投げるボールは、ものすごい威力がありました。でも、だからといってあきらめた様子でプレーする人はおらず、みんな必死でボールを投げ、ボールを取り、そして逃げていました!!



## ～「地域への思い」を感じる～

当初予定していた7月6日(金)は、ちょうど大雨の日で、インタビューを行うことができなかったため、12日(木)に延期しました。学校に来ていただいたところも、自転車や徒歩で自分たちが出向いたグループもありました。みんな一生懸命取り組んでいました。自分たちでインタビューの様子を撮って帰ってきましたが、その写真からも、みんなが頑張っている様子が伝わってきました。



僕は4人で福照坊へ行きました。藤江町をどう思うか、どのようなところが好きかなどをインタビューしてきました。僕が知らなかったことを優しく教えてもらって、藤江のことを深く知ることができたので、これを一つにまとめていきたいです。



今日インタビューをしました。近田さんにいろいろ聞けたので良かったです。晋平くんが一問一答ではなく、内容を深めるための質問をたくさんしてくれたので、近田さんも細かく教えてくれました。



昨日インタビューをしました。私たちのグループは、佐藤さんにインタビューをしました。わたしはメモをする役割でした。佐藤さんのインタビューでは、私たちがする質問に答えてもらうだけでなく、他にもたくさんを知ることができて良かったです。

今日松永の5人でインタビューをしに行きました。下駄工房に着いたとき、豊田さんが店の前に出て明るくあいさつをしてくれて嬉しかったです。



今日は松岡さんの家にインタビューをしに行きました。松岡さんは習字だけでなく、保護司など、地域の活性化に貢献されていることがわかりました。僕も将来は地域のために色々やってみようと思いました。



今日インタビューで箱田さんが、「金江の人はもっと自分から意見を言うべきだ」と言っていました。僕は箱田さんが言っていたことを、これからやっていきたいです。



一番印象に残っているのは、藤江の良いところや誇りに思うところは?と聞いたときに、良いところがたくさんあると教えてくれたことです。私達以上に地域のために頑張ってくれているとわかりました。

